

サニーコスト便り

2020/1/18 第107号

令和2年のお正月おめでとうございます。

今年もよろしくお願いいたします。

今年、4月にアニバーサリーパーティを金子裕行氏をお迎えして行います、みんなで楽しみましょう。彼は元々多摩ハッピーハートで、奥さんは、町田スクエアダンスの会員です。

結婚してから、仕事で大阪の方へ行き、藤井寺 kittun スクエアに入り、裕行さんだけが東京に戻って、コールをしている方です。

会長 磯部章三

ラウンドダンスの踊り込みを終えて

10/20(日) フォーラム南太田トレーニングに於いて、吉川幸一 八栄子ご夫妻のご指導のもとラウンドダンスの踊り込みが行われました。当日は天候不順の折にもかかわらず暖かいを通り越して汗ばむくらいの好天に恵まれた一日となりました。参加者23名の方々の参加のもと ツーステップ ワルツ ルンバ チャチャ フォックストロットのステップをそれぞれの曲に合わせ、時にはお手本を示していただきながら練習しました。終始和やかな雰囲気であつという間に3時間余りが過ぎました。自分では憶えているつもりで無意識に踏んでいたステップの誤りに気づかされるなど、楽しく実りの多い時間となりました。

吉田 恵津子



動画ユーチューブ：サニーコストチャンネル

<https://youtu.be/LisUIEaTuwk> <https://youtu.be/EBix6fhs9RM>

私の趣味

私がレザークラフトと出会ったきっかけは 今から40年前会社の同僚がやっていたのを見て
趣味のない私は、自分にもできるのではないかと思い 店の人に講習を受け 始める事になりました。
最初は女性用のバッグ作り（手彫りのショルダーバッグ、セカンドバッグ、ポシェット）いくつか作っていくと
周りの皮が多く残ってしまったのを店に戻していましたが、あるクラブからクラブバッチを作ってみないかと
言われ バッチ作りも始め 今に至っています。
最近はブローチ作りにも挑戦しています。

中井 攻



2019/12/21 会場：大岡地区センター：二階会議室



「サニーコースト 今昔物語」第一弾



筆者：写真中の女性

私達横浜 SD 愛好会に所属する会員の中で、毎週踊れる会を作りたい
ビギナー講習をやりたいと有志で始めたのが、横浜サニーコーストです。

子供を連れて夫婦で参加できる土曜日に例会を開催 1982年(昭和57年4月)の事でした、磯部・矢島・齋藤 各夫婦の他に内山和子・鈴木武政の八名で出発！！

例会を開始するが、お父さん達ははたき盛り人数が集まらず近隣のクラブの人達の応援でやっとダンスが始まるのが七時半過ぎ・・・・・・・・・・毎週この状態が続き

翌年昭和58年にビギナー講習開始 8名参加でこの年には会員も24名となりました。

例会後は毎回南太田駅前の「パーラー泉」で会食(子供たちはこれが目当てで参加??)

葉山高梨邸でのバーベキュー大会、逗子海岸で海水浴(母子参加)、箱根交歓会(こども達も参加)

横浜どんたく(山下公園でSDデモンストレーション)等 いろいろな行事を皆で考えて楽しく行ってきたのを思い出しますね



この間にも毎年ビギナー講習を開催し会員数も増えて来ました。

昭和61年になると中学生となった子供たちも多数ビギナー講習に参加。(この中何名かはチャレンジを踊るまでに成長)に

1985年(昭和60年)3周年アニバーサリーを南センター体育館にて開催参加人員115名

1989年(平成元年)7周年アニバーサリーを南センター体育館にて開催参加人員230名

1992年(平成4年)10周年アニバーサリーを南センター体育館にて開催参加人員350名と

参加者の増加に伴い 1995年(平成7年)13周年アニバーサリーは場所を横浜市技能文化会館にて

369名の参加者を集めるまでに成りました。そんな中 1999年(平成9年)5月11日に

15周年アニバーサリーは横浜のランドマークホールで開催なんと参加者600人以上の

盛大なパーティーを実施できたのが思い出に・・・・・・・・・・

サニーコーストはMSを踊るクラブだからと1987年(昭和62年)スクエアホッパーズから山咲さんを迎えるまでプラスの講習は有りませんでした。

現在の様に会員数も増えダンスに対する向上心も要求も多種多様になりクラブ運営も難しくなってきましたよね・・・・・・・・・・

昔は良かったとは言いませんが、今よりダンスが楽しかった事は事実でした。

これも良き時代だったと感じるのは、、、わたしだけでしょうか～

雑感

宮内 洋治

学生時代テニスクラブの資金稼ぎのためのダンスパーティー開催では裏方専念、社会人となって赴任先の南アフリカ共和国滞在中のクリスマス時期に毎晩のように行われるダンスパーティーではいつもワイングラス片手に壁の花(女性ではないが)だった私。

社交ダンスに挫折の連続で当然のことながらダンス嫌いに……。そんなダンス嫌いの私がスクエアダンスにはまって14年、今では生活の重要な一部となっている。

妻のフォークダンス仲間で当時ファニーエンジェルの会員だった友人から「歩くだけのダンスだから大丈夫」と、サニーコーストの初心者講習会を紹介されたのが始まり。後になって家の近所で愛好会も同じ時期に新人募集をしていたことを知ったが、サニーコーストで良かったとしみじみ思う。

どうしたら当時の私のようなダンスに興味のない人達にスクエアダンスを知ってもらえるだろうか。メディアの活用もさることながらやはり会員の紹介が最も効果が大きいに思える。

2021年からは初心者講習会を年度替わりの3月開講に戻すことをきっかけに、新人獲得への努力を会員みんなでやっていたらと思う。

編集後記

正月恒例、箱根駅伝ビールのコマーシャルの前に流れる短編箱根駅伝今昔物語をヒントに、サニーコースト今昔物語第一弾の投稿記事をお願いして紙面に載せた。

惜しくも、その記事の中にある矢島雍弘氏の訃報が届いた寂しい限りである。

”ご冥福をお祈り申し上げます”

次号からは会報係から名称を変更して、ホームページ作成・会報サニーコースト便り等サニーコースト全般の宣伝活動を主に広報係に改めてスタートします。